

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	インテリアデザイン実習4A	
科目基礎情報							
開設学科	インテリアデザイン科		コース名	全コース		開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	60時間
単位数	2単位					授業形態	実習
教科書/教材	課題毎に資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	角田光代			実務経験の有無・職種		有・インテリアデザイナー	
学習目的							
この科目は2年次前期までに培った力を生かし、学校課題以外のステージで発揮することを目標としている。 ご協力頂ける企業からの課題に取り組み、通常の課題では得られないリアルな体験から、今後の学びが発展的なものになることを目的としている。 企業様への提案はとても緊張感があり、真剣勝負で取り組む内容となっている。							
到達目標							
企業様から出して頂く課題に取り組める力がつく。実際に施工される採用案が出せるようになる。							
教育方法等							
授業概要	この授業では、2年次までに培った空間デザイン提案力を生かす授業を想定している。 コンペティション、産学連携課題などで採用されることや、インターンによって今後の進路を明確にするための学びである。						
注意点	産学連携課題においては、依頼された期日や約束ごとを厳守し、制作を行うこと。 授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する				
	課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する				
	リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する				
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	ガイダンス			課題内容の発表、企業の概要、取り扱い商品などについて知る			
2回	調査・プランニング			事例から参考となる写真などを収集する。異空間のジャンルが参考になることもある。			
3回	調査・プランニング			事例から参考となる写真などを収集する。異空間のジャンルが参考になることもある。			
4回	デザイン・空間スケッチ			空間イメージスケッチ、図面化、スタディー模型等、表現しやすい方法で立体的に考えていく			
5回	デザイン・空間スケッチ			空間イメージスケッチ、図面化、スタディー模型等、表現しやすい方法で立体的に考えていく			
6回	プレゼン準備			中間プレゼンに備える、発表の仕方考える			
7回	中間発表			企業様の前でプレゼンテーション			
8回	再構築・作図、パース			中間発表でのアドバイスを基に構想をさらに練る。各種図面作図、パース、3D、模型製作へ入る			
9回	再構築・作図、パース			中間発表でのアドバイスを基に構想をさらに練る。各種図面作図、パース、3D、模型製作へ入る			
10回	模型制作			照明計画、装飾部材、什器の位置、サイズまで詳細を表現する			
11回	模型制作			照明計画、装飾部材、什器の位置、サイズまで詳細を表現する			
12回	模型制作			照明計画、装飾部材、什器の位置、サイズまで詳細を表現する			
13回	プレゼンボード			最終プレゼンに備える。プレゼンボード、資料作成			
14回	プレゼンボード			最終プレゼンに備える。プレゼンボード、資料作成			
15回	最終発表			企業様の前で最終のプレゼンテーション 企業内審査を経て採用案が決定される			